

平成31年まちづくり懇談会 顛末書

開催日時	平成31年1月20日（日）18:00～19:10
会場	柏台会館
自治会名	柏台第1自治会
出席者	<p>【町側】 大野町長、本庄副町長、高野教育長、坂総務企画部長、岩淵総務企画部参事監、米田住民福祉部長、渡辺健康生活部長、酒井経済部長、木村農林水産部長、上田教育部長、柴田企画課長、寺田企画課主幹 以上12名</p> <p>【自治会側】 25名（男性17名、女性8名、議員1名）</p>

《顛末内容》

主 な 内 容	
開 会	司会 柴田企画課長
会長挨拶	柏台第1自治会長
町長挨拶	大野町長
職員紹介	柴田企画課長
資料説明	<p>渡辺健康生活部長 1. 「脳・脊髄外来のご案内」について</p> <p>坂総務企画部長 2. 「静内庁舎の電話が変わります」</p> <p>柴田企画課長 3. 「婚活事業について」口頭説明</p>
意見交換	<p>懇談希望テーマ ・柏台公営住宅建て替え工事の計画年度までの施工（計画通りの戸数を施工するのか）について</p>
酒井経済部長	<p>平成23年度から建て替え工事を進めていまして、平成39年度までの計画でございます。従来497戸の住宅がありましたが、それを解体し287戸建設する計画で進めています。30年度までに264戸の解体を行いまして、116戸を建設しております。今後につきましても、全体計画の中で毎年少しずつ建設していくことを考えています。公営住宅の建て替えは、国に計画の書類を出して申請するのですが、国の予算の関係で町が要望する戸数が建てられない場合もございますので、年度はあくまでも目安ということでご理解いただきたいと思います。併せて、建て替え計画という計画がありまして、柏台を含めて公営住宅長寿命化計画を持っておりますが、10年に一度、町の規</p>

<p>自治会員A</p>	<p>横に合わせて見直しなさいという通達もございますので、今年の春以降に10年を経過するものですから、公営住宅全体の長寿命化計画について見直すことを予定しております。その結果によっていろいろと変更があり得ると思います。変更があった場合には何らかの方法でお知らせすることを考えております。</p> <p>直近の状況を聞きたい。会館の直ぐ近くに22戸建てていただいて、今年の春に引き継がれると思いますが、移った後の建物の解体と空地について、どのような内容で建て替えていくのか具体的に説明を聞かせください。</p>
<p>酒井経済部長</p>	<p>現在住んでいる方に移ってもらい、その後解体して更地にし、新しい公営住宅を建てます。次に取り壊すところから移る方もおられます。単年での引っ越し、取り壊し、建築、引っ越しは難しい場合もございますので、概ね1年から2年をかけて地域全体を建て直すような内容で考えております。</p>
<p>自治会員A</p>	<p>街側と山側の方に分かれていますのですが、今年取り壊すのは20数戸取り壊すと思いますが、取り壊し後は新たな住宅を建てないということでしょうか。</p>
<p>酒井経済部長</p>	<p>国の予算の関係もありますが、海側については31年度中に取り壊しをして建て替えたいと考えております。</p>
<p>酒井経済部長</p>	<p>懇談希望テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・災害時（特に大津波）柏台、清水丘避難誘導道路の新設、整備改良について
<p>酒井経済部長</p>	<p>平成24年に津波浸水予想図が公表されております。その中で柏台は、真沼津川沿いに4か所の接続箇所があります。柏台にアクセスする町道柏台中央線、山手小学校グラウンドの方に抜けていく道路では真沼津川付近で1m程度の浸水が予想されていますが、柏通りの麓、柏台団地橋と言いますが、この辺は浸水予想図では水が浸からないことになっています。現在、北海道により真沼津川は下流から改修が進められていまして、橋も順次架け替えする計画となっています。架け替えにより強度が増し通行できなくなるような損傷を受ける可能性は低くなるのではないかと考えております。柏台には複数のアクセス道路がありまして、津波浸水予想図でも全ての道路が寸断され柏台地区が孤立するという想定はされない状況で、清水丘方面に避難する事態はないと考えております。今言われている道路は以前から話があり、考えた時期もございましたが、現在整備するような状況ではないと考えています。ただし、さまざまなケースが今後出てくると思いますが、町民皆さまの安全を守るために引き続き道路について検討を継続していきたいと思っていますのでご理解願いたいと思います。</p>
<p>自治会員B ・道路の拡幅について</p>	<p>前の町長の時から柏台に上がる道路を広げる要望を出していたのですが、どのように考えているのか。災害の時に末広町や山手町の人たちが全部柏台に来ると思う。その時のための多目的ホールみたいなものもお願いしてあったのですが、どのようになっているのか。</p>

酒井経済部長	<p>災害時の交通渋滞等を考えた時に道路を広げた方が良いというご意見があると思います。ただし、柏台地区に人が集まってくるということもあると思いますが、清水丘もそういう状況になりますし、静内第三中学校や目名の方に避難される方もいらっしゃると思いますので、避難される方の規模などを考慮し、優先度を考えながら検討していきたいと思いますのでよろしく願いいたします。</p>
自治会員B	<p>そのようにしてください。逃げてくるとしたらここが一番先だと思う。そのためには車で来る人がいたら道路が狭いと思う。</p>
本庄副町長	<p>昔からの話ですが、ここの自治会は避難者の受け入れ訓練までやっていただいております。担当が言っているのは、中央にある道路は見ていただいてわかるように拡幅するのは非常に難しい。可能性として検討しているのは、もし大津波が来た時には上り一辺倒の道路、上に逃げるだけの道路の指定をしたかったのですが、警察ではだめだと言います。実際に起きた時にはそういうことは言っていられない。いろいろなルールがあって警察もJRもだめだと言うのです。実際には逃げる人たちを止められない。歩いて上がってくださいと。どこに逃げてくださいますかと言いますが、本当にそうなるか。そういうことを想定して計画を作らなければならないのですが、皆さまに話す時はできるだけ徒歩で逃げてくださいますかという話をするしか方法がない。道路も柏台に逃げる方、清水丘に逃げる方が必ず出ますから。これで出た話が柏台と清水丘をつなぐ道路はどうなのかという話が前からありますが、億単位のお金になり財源的には難しい。これは苗畑を含めて公園の構想もありますが、現状の町の体力では対応できない。何とか命が助かるような方法を一生懸命計画させていただいている。炊き出しの訓練をやっていただきましたが、本当にここの方々には受け入れの方をお願いするしか方法がなく、有事の際はよろしく願います。</p>
坂総務企画部長	<p>町の防災訓練もやりますし、自治会ごとの防災訓練もやっています。東日本大震災の映像を見たと思いますが、車で避難して後ろから津波が来て呑み込まれて亡くなった方というのが多いので、市街地では徒歩で避難してくださいとお話しています。ただし、身体が不自由な方や高齢で歩けないという方は車で避難することは仕方がないと思います。市街地にはホテルや役場など、いろいろなところに緊急避難施設があって、緊急の場合はそこに避難してくださいとしています。実際に津波が到達するまでに30分の時間がかかります。私は古川町にしまして、自分たちの津波避難計画というものを作って、中野町まで逃げれば津波避難区域外になるのですが30分以内で直ぐに行動を起こせば逃げられる。私の自治会は徒歩で逃げて下さいと話しています。ルートについては、古川町から町立病院を通るルート、御幸通りを通るルート、町立病院を通るルートには5階建の公営住宅があるので、それも緊急避難施設になっています。御幸通りを通るルートはホテルがローレル、エクリプス、ピュアの屋上、役場にも逃げられるということで時間がない場合はそのように逃げてくださいますと説明をしています。柏台の自治会は、第1も第2も自主防災組織を作っていただいているのですが、津波浸水区域の自治会については、防災グループの職員が出向いて計画を自治会ごとに作ってもらえないでしょうかという説明をしています。津波については、まず高い所に逃げてほしい。柏台に来られるというのは多いにあるかと思っています。その際には</p>

<p>自治会員A ・道路改良について</p>	<p>皆さまにもいろいろとご協力をいただく場面が出てくると思いますのでよろしくお願いいたします。</p> <p>柏坂という一番交通量の多い道路ですが、真沼津川を超える橋、花園生活館に降りるところが、非常に舗装が悪く道が狭く雪が降れば横滑りするような状態になる。橋の幅を広げていただく中で滑らかな形でできるだけ早い時期にお願いしたいと思います。</p>
<p>酒井経済部長</p>	<p>北海道が真沼津川の改修を続けています。川幅を広げる工事に伴い橋の架け替え工事が行われます。柏台団地橋もその事業の中で架け替えを予定しております。年度については申し上げられないのですが、柏台団地橋を直す時に今のご意見も含めて交差点がスムーズになるよう要望をお願いしていきたいと思います。</p>
<p>自治会員A</p>	<p>橋ができてからの工事になるのですか。橋はしっかりしている。交差点のところが非常に悪い状況であって特に冬場は危険が伴っている。現状をきちんと把握して対応してほしい。</p>
<p>酒井経済部長</p>	<p>道路状況は橋の前後に関わらず、雪が少ないものですから凍結、融解、雨が絡んだりして凄く舗装が痛みやすいのが日高地区の特徴です。雪がもっと降れば凍結が下まで入りませんから痛まないのですが、いろいろなところで舗装が痛んでいて、直しても追いつかない状態です。橋の左右の町道についても痛んでいるということで伺いましたので、明日以降、現地を見させていただきますし、本当は橋を工事する時に、橋が長くなりますので両側の道路も改修します。その中で角度を含めて北海道と一番良いものを作っていくよう要望していきたいと思いますのでよろしくお願いいたします。</p>
<p>自治会員C</p>	<p>訓練で認知症の方のための訓練も入れておいてほしいと思います。</p>
<p>坂総務企画部長</p>	<p>役場、消防の職員がたくさんいて、全てのところに行ければ間違いないと思いますが職員は限られています。お願いしているのは、自助・共助・公助ということで自分の命は自分で、役場がやる対応もあります。ただし、地域の方々のご協力をいただかないとそういう時に行けないということもありますので、自主防災組織の中でお話をして下さい。自治会によっては敬老事業の時にどういう人がいるのかということ把握して、声掛けをしていただく。最終的には自分の命を守るということを考えていただかなければならない。そのうえで地域の方々が協力してできる共助ということをお願いしたいと思います。役場もそういうことが自治会に浸透してくれるように、防災訓練や防災講話でご協力をお願いしますということでお話をしておりますので、柏台の皆さまにも総会等で集まる場面があると思いますので、そのような時にお話をして、地域としてどのような行動をとれば良いかということもお話をいただければと思います。</p>

<p>岩淵総務企画部 参事監</p>	<p>懇談希望テーマ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・少子化人口減少問題について <p>今、日本全体はどこも人口が減少してしまっていて、その減少の波はこれからも進むものと考えております。当町のような地方においては、その勢いがこれからもますます増えると考えております。これを人口増加に転じさせることは難しいだろうと思っております。それであれば減少の勢いに歯止めをかけるというところに少しでも力をかけたいと考えております。</p> <p>人口減少の要因としましては、自然減と社会減があります。生まれてくる方より亡くなる方の方が多い場合は自然減といいます。この町に入ってくる方と出て行く方の差がマイナスであれば社会減ということになっています。自然減については、町の環境を整えたら防ぐことができるもので、町では子どもを産み育てやすい環境を整えるために出産費や医療費の助成制度を設け、子育てに関わる各種相談体制の整備充実に向けて努めております。健康寿命を延ばすための対策としましては、各種要望事項や健康増進事業に取り組んでいるところです。今後、取組を拡充させながら妊娠、出産への第一歩である結婚への支援や地元で子どもが埋める環境整備にも力を注いでいきたいと考えております。</p> <p>社会減については、他の町から入ってくる方を増やし、現在住んでいる方が外に出ないよう、より良い環境を作り残っていただくということしかできないと思っております。町としましては、ちょっと暮らし体験事業というものを行ってまして、この町で体験したことをアピールしていただき、将来的にはこの町に住んでいただくという事業でございます。各種研修制度を設けて新規就農対策などをやりながら人口を獲得するために力を注いでおります。</p> <p>また、各種奨学金制度では、子どもたちのために町内業者による地元採用への奨励金制度などの取組を行っております。柏台地域におきましては、公営住宅の建て替えを継続的に行っており、また、防災や景観の面から移住者にも人気のあるエリアでございます。そのような魅力を活かしながら減少対策に取り組んでいきたいと思っております。今後はこれまでの取組を拡充しながら、空き家対策、遊休農地の第三者継承対策などを効果的に連携させてUターンや新規事業の立ち上げにつなげていきたいと考えております。</p>
<p>自治会員C ・廃校舎の利用 について</p> <p>坂総務企画部長</p>	<p>高齢者は老人ホームのことを心配をしている。廃校舎を老人ホームにリフォームできる方向でお願いできませんか。</p> <p>廃校舎は、売却するという事で公募をしております。あのような大きな施設は、使っていないでも相当な維持費がかかります。できれば有効活用していただけたらと売却していきたい。今まで進まなかった理由は、建物、土地にかかる経費が高額になるため、希望するところがない状況にございました。旧静内第二中学校だけは一部貸付けを実施してございまして、この事業がスムーズにいけば校舎を売却することになってくるかもしれません。このままでは売却が難しいので、議会にも相談していかねばならないのですが、建物の代金を抑えた形で公募することを近く議会に相談</p>

	<p>したいと思っております。</p> <p>老人ホームのお話がありましたが、三石の廃校舎でサービス付き高齢者住宅として利用したいという話があったのですが、残念ながらまともりませんでした。静内地区に静寿園、三石地区に蓬莱荘と特別養護老人ホームが二つあります。当町のような規模で老人ホームが二つもあるところは他にないです。また、老人ホームにかかる経費は収支でいけば赤字になっていまして、町財政が厳しいといわれている一因にもなっています。結論から言いますと廃校舎を老人ホームにするというのは、かなり難しい問題になると思います。ただし、民間の方で話があれば積極的に協議していきたいと思っておりますのでよろしくお願ひいたします。</p> <p>懇談希望テーマ</p> <p>・空き家公住周りの草刈りについて</p>
酒井経済部長	<p>昨年も第2自治会から同様の要望が出ていまして、建て替えをしているものですから空き家が増えているのが実情です。環境衛生上、大家である町が草刈りをやるべきでございますので、第2自治会からの要望も踏まえて自治会長と協議しながら草刈りを町で計画させていただいております。ただし、皆さまがよく使う通路は、年2回なり3回、他に公園などもあります。空き家については申し訳ありませんが1回程度で自治会長と協議させていただいております。引き続き春以降もそのように対応していきますので、ご理解いただきたいと思ひます。</p>
自治会員B ・駐車場の整備について	<p>公営住宅に大きな駐車場を作っていただきたいと思ひます。</p>
酒井経済部長	<p>他の住宅でも自分の住宅用に1台、2台は止められるけれどもそれ以外は他に止めている。そのために駐車場を整備することは困難でございます。例えば、公営住宅を取り壊した空地に止めるなどの方法で対応願ひます。</p>
自治会員A ・自治会要望について	<p>8月に自治会要望とした案件ですが、道南バス停留所から下の公営住宅の排水が詰まっています。雪が多い時は雪解け水が排水されないため、玄関先まで水が来るという内容で提出していますが、これは急ぎの状況で年内に早急に整備をお願いしたい。</p>
酒井経済部長	<p>たくさんの自治会から同じような要望が来ていまして、それぞれ現地調査又は応急処置をしている場所が多数あります。事業化できるかどうかは予算に関係してきますが、住むために支障をきたしている、危険であるというご意見も記載されておりますので、担当職員も見ている中で応急処置、改修に向けての予算化を検討しておりますので、この場で回答できない状況ですが改めて確認させていただければと思ひます。</p>
自治会員A	<p>結果は通知していただけるのでしょうか。</p>
酒井経済部長	<p>自治会要望の回答は5月、6月に行われる自治会長会議の時に、それぞれの自治会に</p>

<p>自治会員D ・循環バスについて</p>	<p>お渡しすることで予定しております。</p> <p>循環バスのことですが、時間を変更するか、1本くらい増やすことができないか。</p>
<p>柴田企画課長</p>	<p>バスのことについて現状を申し上げますと、市街地循環線というのは民間企業の道南バスが運行しています。毎年、数百万円の赤字を抱えておりまして、約7割を町が補填して維持している状況です。これを増やすと更に赤字になり、協議はさせていただきますが、バスに乗る方々の意向はそれぞれあると思います。この時間が良いと言う人もいれば悪いと言う人もいますので、地域、自治会としてまとまった意見があるのであれば、それを持って道南バスと協議させていただきますのでよろしくお願ひします。</p>
<p>自治会員E</p>	<p>大きなバスでなければならないのか。</p>
<p>本庄副町長</p>	<p>道南バスは大きなバスしか持っていません。先ほどのお話もこの便は全然人が乗っていないのでこの時間帯をやめて他の時間帯にした方が良いということをもとめてくれれば道南バスに話します。</p>
<p>自治会員F</p>	<p>一番上のバス停のところに湧水があります。検査していただければと思います。</p>
<p>自治会員G</p>	<p>自治会要望で出しています。</p>
<p>柴田企画課長</p>	<p>要望が出ていまして、内部で検討しております。</p>
<p>大野町長 (閉会挨拶)</p>	<p>いろいろなご意見ありがとうございました。人口減少の問題につきましては、抜本的な解決策はないと思っています。減少するスピードを遅らせられないかということで、移住などいろいろな対策を打っています。遅らせることによって次の時代における社会に対する価値観が変わってくれば、都会ばかりが良いところではない。田舎にも良いところがある。あるいは、ロボット化やパソコンの使い方がもっと良くなってくれば、ここでも仕事ができるのではないかと思う。そのような時代がきっと来ると考えています。その時代を迎えるためにも、人口減少の速度を遅らせるように取り組んでいかなければならないと思っています。</p> <p>2点目に老人ホームのお話がありました。皆さまが入りたくても入れないという現状にあるということも分かっています。一方で介護を受ける人は増えているのですが、世話をする方がいない。介護関係の専門家のお話を聞きましたが、札幌市で新しく介護施設を建てても介護する人が集まらないためオープンできないという状況になっています。その中で当町には町立の特養が二つあるということですが、介護の職員の皆さまがこの町で働いてくれる環境を作ることが重要でございますが、現状ではそのようなことになっているということをご理解いただきたいと思います。悲観的な話ばかりしていますが、決して悲観することはないと思いますので、皆さまがそれぞれ理解</p>

	し合いながら行動を起こしていけば良い町になっていくことを信じて、これからも一生懸命やっていきたいと思いますので、ご理解とご支援とお手伝いをよろしくお願ひしたいと思ひます。ありがとうございました。
閉 会	19:10 終了